



## 福島県産マルコガタノゲンゴロウ標本

福島県内産マルコガタノゲンゴロウの標本。マルコガタノゲンゴロウ（体長約24mm）は全国的に生息地及び個体数が激減している希少種で、種の保存法（絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律）の国内希少野生動植物種に指定されている（昆虫類の指定種は31種類）。環境省の第4次レッドリストでも絶滅危惧IA類に位置づけられており、各地で保護活動も行われている。福島県では2010年に初めて分布が確認された。現在、環境省からの許可を受け、県内3ヶ所で系統保存のための飼育が行われている（福島大学もその中の1ヶ所）。

**資料点数** 3点(2♀1♂)

**保管場所** 共生システム理工学類塘忠顕研究室(共生システム理工学類棟 605室)

**参考文献** 吉井重幸・三田村敏正・平澤 桂・高橋真希・高橋明子(2011)福島県初記録のゲンゴロウ類2種, ふくしまの虫, (29): 25-26.

執筆・写真: 塘 忠顕(共生システム理工学類)